



株式会社ジャパndeザイン

多言語対応ICT化推進フォーラム

参考資料

代表の経歴・メッセージ

代表/社会起業家 山下太郎 プロフィール

昭和51年大阪生まれ。甲南大学法学部卒業。大手不動産会社入社。

新入社員時から全国TOPの営業成績を残す。

29歳で独立し株式会社ライフデザインを設立、代表取締役に就任。

35歳で一般社団法人日本エンパワーメントコンソーシアム（JEC）を設立。代表理事に就任

37歳で内閣府の専門委員を務める。

40歳で株式会社ライフデザイン、JECを両代表を辞任し、社会貢献の事業化を更に推進する為、平成28年7月7日に株式会社ジャパンデザインを設立、同社代表取締役就任。



代表 社会起業家 山下太郎 メッセージ

ジャパンデザインが推進するソーシャルビジネス

そもそも政府（経済産業省）におけるソーシャルビジネスの定義とは（1）社会性（2）事業性（3）革新性の3つを定義しています。

- （1）の社会性とは、現在解決が求められる社会的課題に取り組みことを事業活動のミッションとすること。
- （2）の事業性とは（1）のようなミッションにビジネスの手法で取り組み、継続的に事業活動を進めていくこと。
- （3）の革新性とは、新しい社会的商品・サービスやそれを提供するための仕組みを開発したり、活用すること。

ジャパンデザインが推進するソーシャルビジネスはこれら3つの政府が定めた定義に加え**4つ目の「成長性」**を定義しております。

- （4）成長性とは、ソーシャルビジネスを通じ企業として成長し、社会課題解決の拡大と同時に新たな雇用や新たな市場の創出を図ること。

我々ジャパンデザインは政府が定めるソーシャルビジネスの定義に（4）の成長性を加え、企業としての成長を図り、我々が定義するソーシャルビジネスを世の中に広めるパイオニア企業として、事業を通じて社会課題の解決を推進すると同時に、社会に対し貢献し続けます。

事業内容

当社は全てのACTIONを社会貢献につなげる ソーシャルビジネスを推進します！



当社が実施する 2つのソーシャルビジネス



社会課題解決型プロジェクト企画運営事業

弊社が企画・運営するプロジェクトを通じて、社会課題の解決策を持っている企業と実際に社会課題解決を実施している団体や行政を一体化し「官民一体」の“力”で社会課題の解決に継続的に取り組むことができる仕組みを提供致します。

ソーシャルPRコンサルティング事業

世の中に良い事と企業や自治体、民間団体のPRを結びつけるコンサルティングを実施致します。
弊社が企画運営するプロジェクトを通じた企業や民間団体のソーシャルPRやCSV・CSR活動のコンサルティングを始め
ソーシャルビジネスを通じた企業と行政のマッチングも実施致します。

企画・運営している社会課題解決型プロジェクト

平成29年12月1日現在／累計実績

様々な社会課題解決型のプロジェクトを
1,854の企業・1,125の行政・305の民間団体と
官民一体で実施している、**ソーシャルビジネスのプロ集団**です！

官民一体型プロジェクト実績



省庁 後援・連携実績





社会課題解決型プロジェクトを通じて 実施している5つの事

プロジェクトを通じて実施している5つの事

① 全国の様々な **企業・民間団体・行政** との 連携実績があり、プロジェクトを通じた継続的な 官民一体型のソーシャルPRを実施



民間団体



官公庁



事業所



店舗



プロジェクトを通じて実施している5つの事

平成29年12月1日現在 / 累計実績

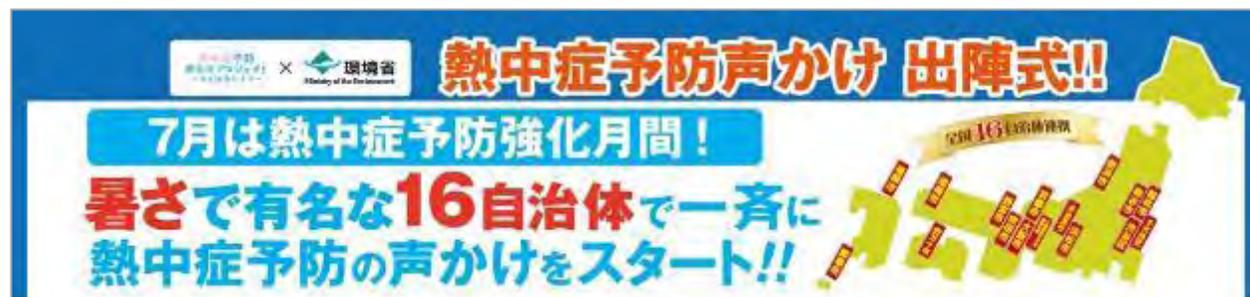
② 全国**47**都道府県、**1,125**の地方自治体と 連携して官民一体でプロジェクトを実施



プロジェクトを通じて実施している5つの事

「熱中症予防強化月間出陣式」

全国16自治体と、一斉に熱中症予防の出陣式を実施



③ 官民連携のイベントやアワードにて ソーシャル活動のサポートを実施

渋谷ハチ公前広場



大阪えびす橋



上野動物園



巣鴨



名古屋



イオンモール



プロジェクトを通じて実施している5つの事

プロジェクト単位での「アワード／表彰式」で 企業・行政・民間団体の優秀な取組を各プロジェクトで表彰し、 啓発活動のさらなる活性化を実施

熱中症予防声かけP「ひと涼みアワード」



温泉総選挙「温泉総選挙・表彰式」



プロジェクトを通じて実施している5つの事

④ 官民連携ならでの**メディア発信**を実施



プロジェクトを通じて実施している5つの事

④ 官民連携ならではの**メディア発信**を実施



全国のメディアで
多数取り上げられています！

プロジェクトを通じて実施している5つの事

④ 官民連携ならではの**メディア発信**を実施



地方のメディアでも
多数取り上げられています！

プロジェクトを通じて実施している5つの事

⑤ 国の様々な省庁との啓発連携を実施

国土交通省



農林水産省



スポーツ庁



内閣府



消費者庁

総務省

金融庁

観光庁

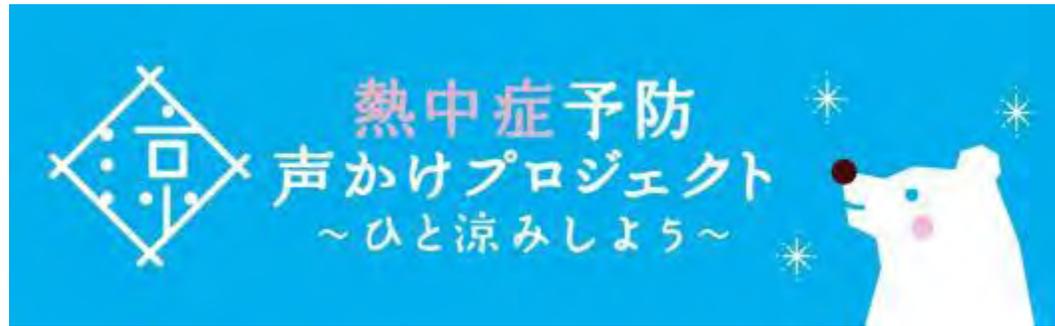
経済産業省

内閣府内閣官房

消防庁

環境省





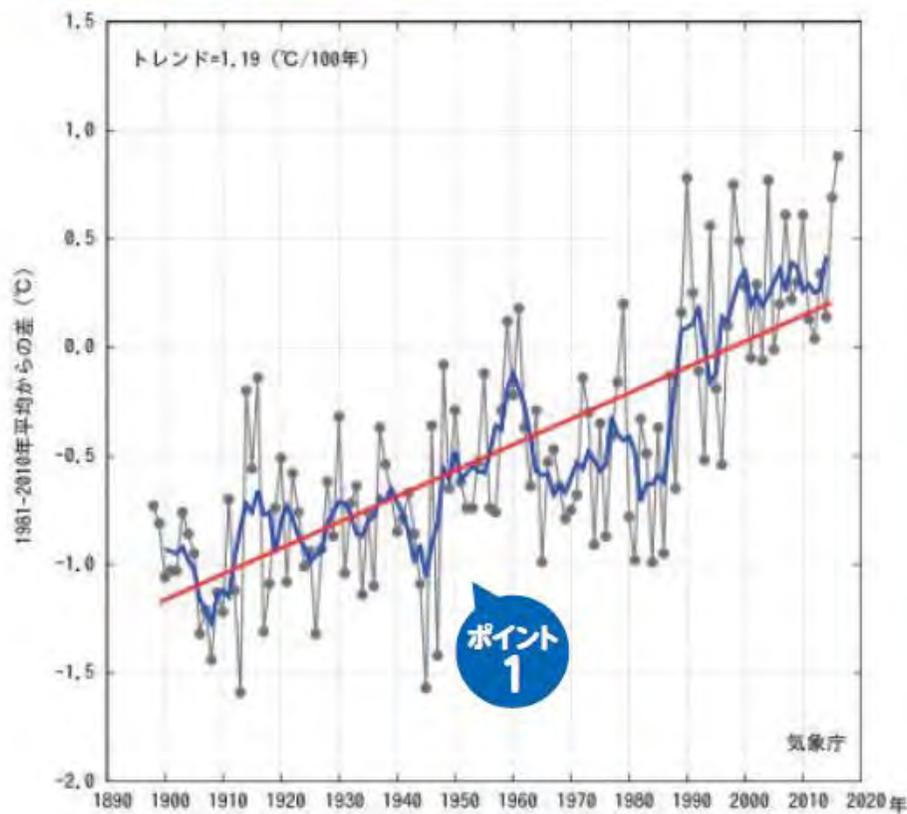
熱中症予防声かけプロジェクトとは



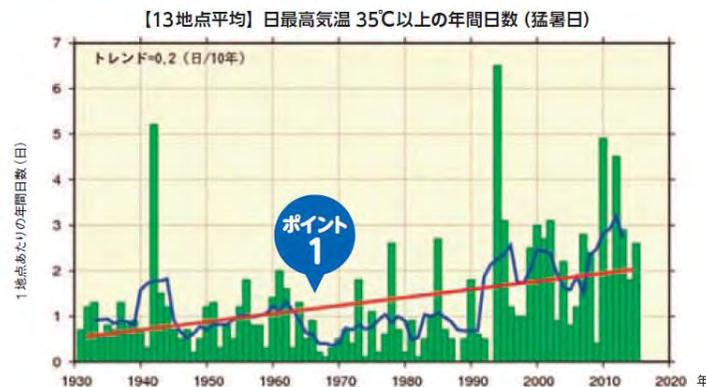
活動背景

地球温暖化により、温度も湿度もさらに上昇すると懸念されています。
熱中症は、今後も間違いなく続く、「夏の社会的健康課題」です。

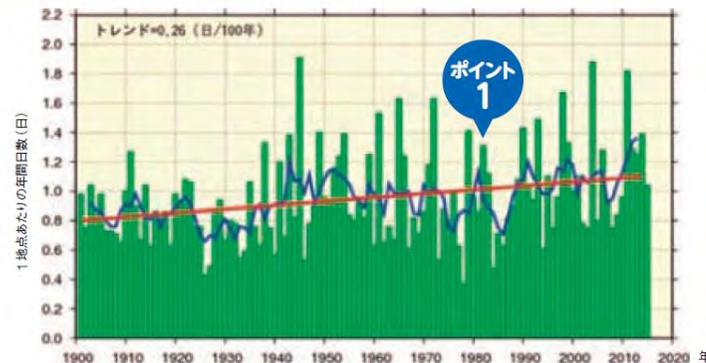
▶ 日本の年平均気温と平年値の差



▶ 日最高气温 35°C以上 (猛暑日) の年間日数



▶ 日降水量100mm以上の年間日数

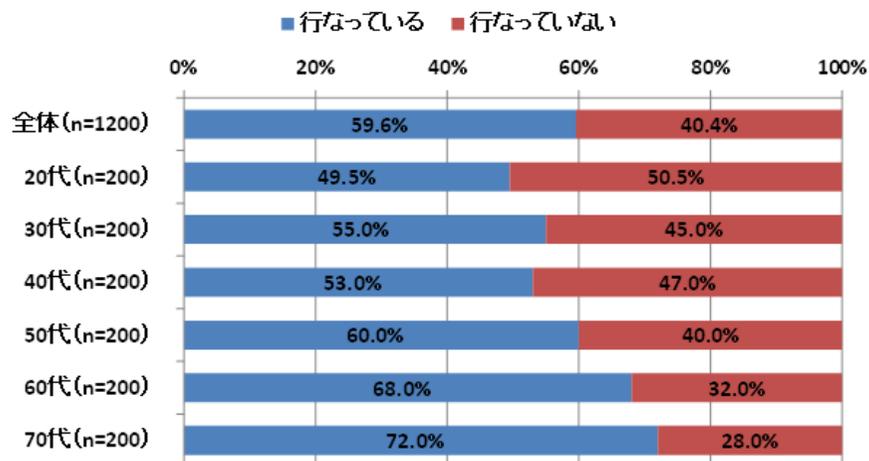


環境省パンフレット「STOP THE温暖化2017」より抜粋

活動背景

熱中症は、地震や台風などの天災とは異なり
きちんと意識をしていれば、ほとんどのケースは防げるものです。
しかし、**生活者の対策率は、依然として低いのが現状**です。

あなたは、熱中症を予防するために何か行なっていますか。
(N=1,200)



対策をしている人は半数以下にとどまる

熱中症の予防として、あなたが行なっていることは何ですか。
(N=715)

水分補給	98.9%
エアコンや扇風機で室温を下げる	66.0%
通気性のよい服を着る	54.5%
外出時は日差しを浴びないようにする	54.0%
屋外が高温時の外出を控える	49.2%
除湿機等を使って湿度を下げる	15.0%

水分補給が圧倒的で、他の対策が浸透していない

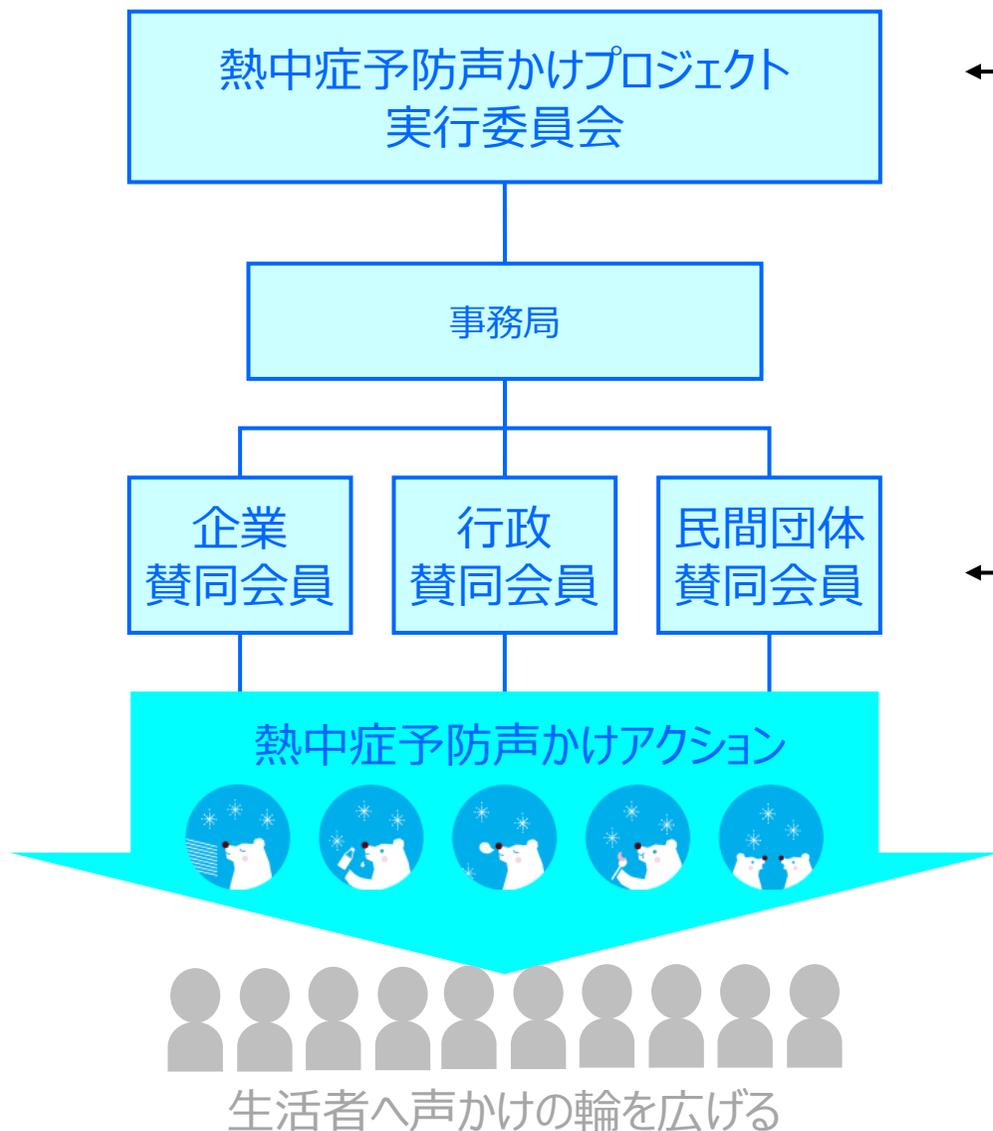
活動主旨

「熱中症予防声かけプロジェクト」は
環境省・地方自治体・企業やメディア・地域コミュニティなどが
官民一体で、熱中症予防の声かけの輪を広げていくプロジェクトです。



人・自治体・企業・・・みんなで声かけをすれば、熱中症は防げます。
わたしたちは、「声をかける」というコミュニケーションの力で
熱中症による死亡者をゼロにすることを目指しています。

活動体制



← 関係省庁、医師、教授、研究者など、官民一体で組織されています。*

実行委員長 三宅康史氏
(帝京大学 医学部 教授)



※ 実行委員のメンバーは、公式サイトをご覧ください。
<http://www.hitosuzumi.jp/greeting>

← 賛同会員それぞれの強みを活かして啓発活動を一緒に展開。

プロジェクト活動費は賛同企業からいただいています。
(行政・民間団体の賛同会費は無料)



熱中症予防声かけプロジェクト 活動実績

- ① 官民一体・啓発イベント
- ② 行政向け啓発ツール
- ③ プロジェクトロゴ活用
- ④ その他の取組事例

① 官民一体・啓発イベント 実施風景（一部）

プロジェクト主催イベントだけでなく、行政・民間団体が主催するイベントとも連携！幅広く啓発イベント活動を実施しております。

渋谷八公前広場
(後援:渋谷区/協力:森永製菓)



京都駅前広場/祇園祭期間
(後援:京都市/協力:キンビバレッジ)



吹田まつり
(主催:吹田市/協力:デサントジャパン)



上野動物園
(親子、訪日外国人向け)



巣鴨地蔵通り商店街
(シニア向け)



東京丸の内夏祭り2017
(環境省のブース出展にPJが協力)



① 官民一体・啓発イベント

熱中症予防強化月間に合わせ、熱中症予防声かけ“出陣式”は
全国の暑さで有名な16自治体と連携し、同日同時刻に開催！

2017年で3回目となる、プロジェクト恒例行事！
各地のメディアで風物詩的に取り上げられています。



熱中症予防声かけ 出陣式!!

7月は熱中症予防強化月間!!

暑さで有名な
16自治体で一齐に
熱中症予防の
声かけをスタート!!

全国16自治体連携



② 行政向け啓発ツール（一部例）

熱中症予防啓発に取り組む全国の行政に向けて
賛同企業と制作したポスターやうちわを無料で提供しています！

官民連携うちわ



官民連携ポスター、啓発冊子



③ プロジェクトロゴ活用（一部例）

プロジェクトに賛同いただいている賛同企業の商品にロゴを掲載！
「熱中症予防」というキーワードを、日々の消費活動を通じて
広く一般消費者にも啓発の輪をひろげております。



④ その他の取組事例（一部）

プロジェクト賛同企業・団体にそれぞれ特色を活かした
啓発活動をご提案！業種問わずご協力いただいております。



ココカラファインは、全国1,300店舗を通じて予防啓発を実施。
ウォーターサーバーによる水分補給&ひと涼みを、来店者におすすめしています。

店前の目立つ位置にツールが設置され、来店者に広く啓発
熱中症対策商品をまとめたコーナー化も同時に展開



④ その他の取組事例（一部）



全国浴場組合は、**全国約2,500の公衆浴場**で予防啓発を実施。
 しっかり汗をかくという体づくりと、入浴前後の水分補給を提案しています。

全国の浴場に掲示された啓発ポスター



業界新聞でも大きく取り上げ、関係者への啓発を実施





熱中症予防声かけプロジェクトが実施している 訪日外国人に向けた熱中症予防啓発の実例

訪日外国人への啓発事例（一部）

ワールド声かけ隊による啓発や訪日外国人向け啓発動画の作成

訪日外国人の皆さまに、各国語で熱中症予防を呼びかけるワールド声かけ隊。啓発イベント、動画やポスターなどを通じた啓発を展開しています。

ワールド声かけ隊 啓発イベント（協力:コカ・コーラ）
訪日観光客の困りごと解決活動を行う「**おせっかいジャパン**」とコラボ。多言語を駆使して、渋谷にいる外国人へ広く啓発！



日テレ「ZIP!」で放映されました。

訪日外国人向け 啓発動画の作成
ピクトグラムを使い熱中症予防動画を作成し賛同会員に向けツール提供！



Be careful of heat illness!
熱中症に気をつけよう!



Drink plenty of water
こまめに水分補給しよう



Keep out of the sun and hot places
日差しや暑さを避けよう

Be careful of heat illness and have a nice trip!

熱中症に気をつけて、よい旅を!

詳しくはWEBでチェック
[hitosuzumi](https://www.hitosuzumi.com)

訪日外国人への賛同会員啓発事例（一部）



ドン・キホーテは、店舗メディアやレジ袋などを活用した啓発を実施。
2020年を見すえて、訪日外国人への呼びかけを徹底されています。

英語で熱中症予防を呼びかける
夏期限定の青色レジ袋を**700万枚配布**

4ヶ国語で熱中症予防を呼びかけるポスターを店内に掲示
同様の啓発動画を、**店内モニターや店外大型ビジョンで放映**



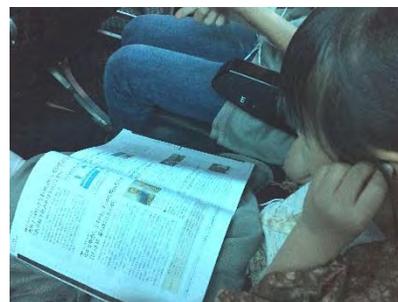
訪日外国人への啓発事例（一部）



JALグループは、飛行機内ビデオや機内誌などを通じた啓発を実施。
2020年を見すえて、訪日外国人への呼びかけを徹底されています。

英語＋ピクトグラムで熱中症予防を呼びかける動画を
7～8月に**飛行機内で放映**

機内誌にて、プロジェクトの紹介と
訪日外国人へ予防を呼びかける記事を掲載





**社会課題解決型プロジェクトを通じて
これから実施する
訪日外国人に向けた熱中症予防啓発について**

その前にICTの3つの課題

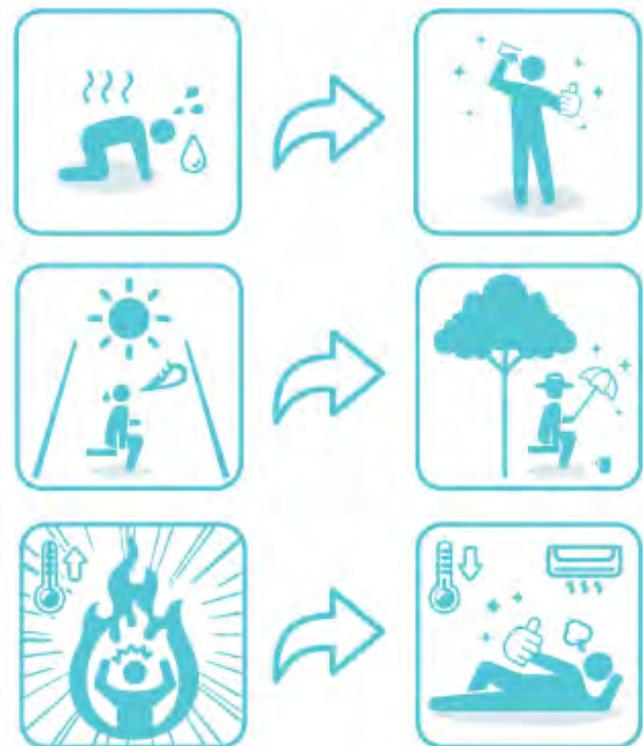
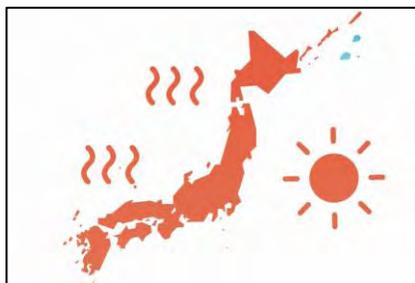
- ① 導入コストと運用のコストが高い
- ② 使う側のノウハウや要因不足
- ③ 統一文言がなく、各自で勝手に啓発する事による受手の困惑

我々が社会課題解決型プロジェクトを通じて提供する
訪日外国人向けツールの3つのテーマ

- ① 導入コストと運用のコストが低い
- ② 使う側が使い易いツール
- ③ 啓発する側（使う側）にもメリットのあるツールの提供

熱中症予防啓発動画のツール

訪日外国人の皆さまに、分かりやすい**ピクトグラム**を使った**動画**の作成
文言も国の方針に合わせて統一し、賛同会員（企業・自治体・民間団体）に提供

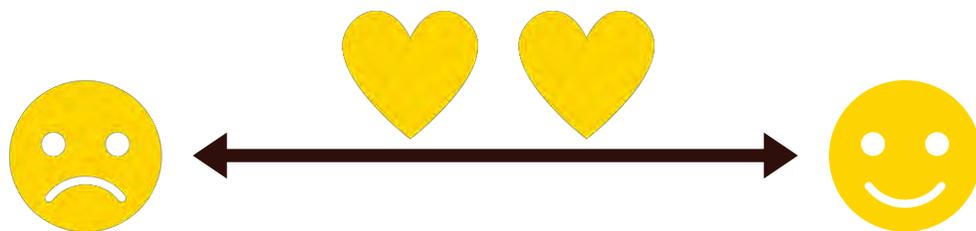


右のQRコードから
啓発動画がご覧いただけます >>>>



ピクトグラムを使ったコミュニケーションカードのツール

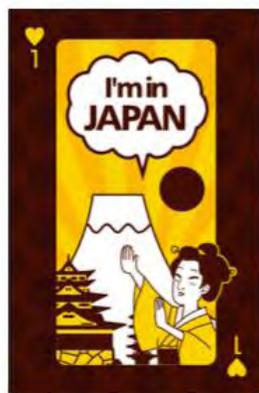
訪日外国人の皆さまに、分かりやすいピクトグラムを使った
コミュニケーションカードのツール



みんなをつなげる
究極のコミュニケーションツール

DRACARD[®]

～さあ、世界中でコミュニケーションを取ろう～



※特許出願中

開発背景

旅行中困ったこと（複数回答）
2016年 観光庁調べ
N=5,332 訪日外国人旅行者

1位	施設等のスタッフとのコミュニケーションがとれない	32.9%
2位	無料公衆無線LAN環境	28.7%
3位	多言語表示の少なさ・わかりにくさ（観光案内版・地図等）	23.6%
4位	公共交通の利用	18.4%
5位	両替	16.8%

訪日外国人の3人に1人が旅行中に「コミュニケーション」で困っています。



訪日外国人との「コミュニケーション」を円滑にするには？

インバウンド受入に対する不安（複数回答）
2015年 NTTコム リサーチ
N=323 観光関連サービス業に従事するビジネスパーソン

1位	英語や外国語(英語以外)でのコミュニケーション	54.8%
2位	外国人のマナー	44.6%
3位	英語や外国語(英語以外)での案内	31.9%
4位	接客ノウハウ	30.3%
5位	外国人のニーズにあう商品・サービスの拡充	27.6%

訪日外国人を受け入れる側も「コミュニケーション」で困っています。

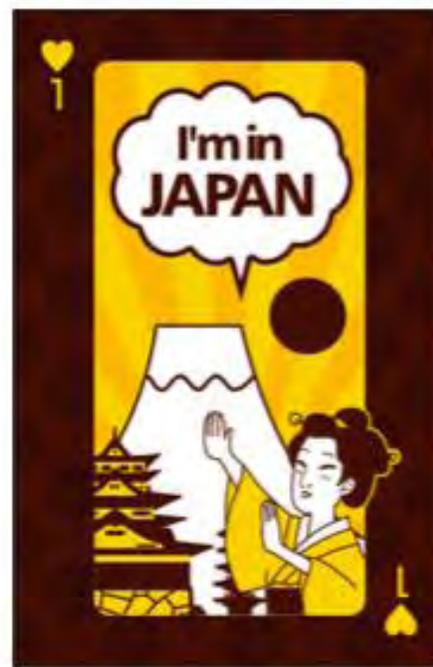


DRACARD[®] とは

DRACARDとは、旅行中、観光中によくある困りごとや知りたいことを

2種類の「ピクトグラム」だけで表現した

コミュニケーションカード



ピクトグラムとは

言葉で説明しなくても視覚的に伝えることができる、

それがピクトグラムです。



1964年・東京オリンピックの際にピクトグラムが産まれました。
ピクトグラムは、**訪日外国人のために日本で考案された**
国産コンテンツなのです。

DRACARD[®] の使い方

① 困りごとや知りたいことをDRACARDを使って簡単に伝える事ができます

また、SNSの写真撮影するときでも大活躍！！



② 困りごとや知りたいことを理解し、対応します

**外国語や日本語などの言葉を使うことなく、
すぐに 伝達・理解・対応ができるのが特徴です！**

DRACARD[®] の使い方

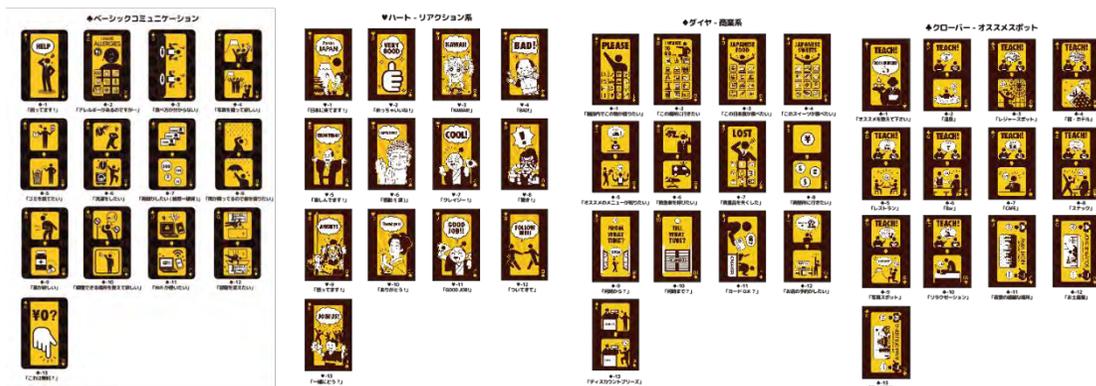
DRACARDは、更に **カードゲーム** (トランプ) もできる優れたもの



JOKER

合計 **54種類**のカードから

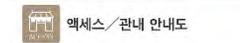
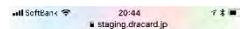
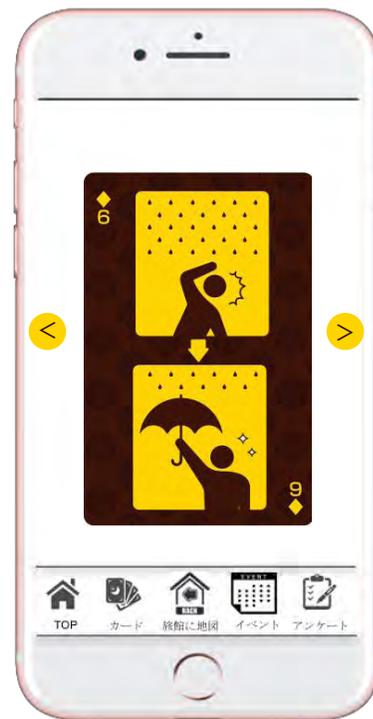
お好きなカードを選んで**コミュニケーション**を取る事ができます！



DRACARDは**お土産**として販売する事も出来ます。

また、**ご当地DRACARD**を作成する事も可能！

DRACARDはもちろん
スマホでも見る事が可能





2020年そして観光立国に向けた 訪日外国人向け熱中症予防啓発について

熱中症対策アドバイザーについて

夏季のイベントやスポーツ大会会場など熱中症発生リスクの高いシーンで適切な熱中症対策を行うアドバイザーを養成する講座です。
2017年スタート。WEB受講&試験により、実践的に学んでいただいています。

夏のイベント・スポーツシーンで活躍！
熱中症対策アドバイザー養成講座
主催：熱中症予防声かけプロジェクト
後援：環境省

アドバイザーの方々は、イベント会場などの場で活躍されています！



- 講座修了試験に合格すると、「熱中症対策アドバイザー」の呼称を使用することができます。熱中症対策アドバイザーカードを進呈いたします。



- 合格者には「熱中症対策アドバイザー」専用ビブスを進呈いたします。夏のイベントなどで便利にご活用いただけます。



- 講座で学んだ知識を活かし、夏のイベント運営などのシーンで適切な熱中症対策を行うことができます。



など、活躍できるフィールドは多数！



熱中症対策アドバイザーについて

2020年・東京での熱中症被害を最小限にしたい！
観光ガイドや通訳ボランティアに、“熱中症対策”の知識をプラスして
熱中症予防啓発もできるボランティアの育成&質の向上に貢献します。

＜東京都 & オリパラ組織委員会が推進するボランティア＞

	大会ボランティア	都市ボランティア
運営主体	組織委員会	都 ※1
活動場所	競技会場、選手村などの 大会関係施設	空港・主要駅・観光地及び 競技会場の最寄駅周辺
活動内容 ※2	観客サービス、競技運営の サポート、メディアのサポートなど	国内外の旅行者に対する観光・交通 案内及び競技会場の最寄駅周辺にお ける観客への案内など
規模	合計で9万人以上を想定	

両ボランティアともに2018年夏ごろに募集を開始
書類選考や面接などを実施し、主な研修は2020年から実施予定

＜プロジェクトが推進する活動＞

ワールド声かけ隊

2016年から活動スタート
訪日外国人に熱中症予防を呼びかける活動

熱中症対策 アドバイザー

2017年からスタートする養成講座 & 認定制度
夏季のイベント会場などで適切な対策を行う
アドバイザーを育成